

「科学ヘジャンプ・イン・京都2015」報告

平成27年の近畿地区での科学ヘジャンプは、昨年に引き続き京都府立盲学校にて、平成27年11月14日（土）に、「科学ヘジャンプ・イン・京都」2015」として実施されました。あいにくの雨で一部ワークショップの内容を雨天時用メニューにして行いましたが、全日程を概ね予定通りに実施することができました。

参加児童生徒は、過去最高の33名（小学生20名、中学生6名、高校生7名）でした。（申し込み時は35名でしたが、当日2名の欠席が出ました。）

また、スタッフとして近畿地区の盲学校等から94名の協力があり、保護者（付添）、見学者を合わせると約170名の規模となり、こちらも過去最高の人数となりました。

ワークショップは、午前・午後それぞれ8グループで実施しました。

三葉虫、動物の骨格標本、ユリの花の触察、長さの単位、平面図形・立体図形の特徴などの理科、算数・数学分野のみならず、京都府立盲学校資料室の資料を用いての文字の歴史や、京都府立盲学校周辺でのフィールドワーク、ドローンを飛ばすなど、多種多様なワークショップが実施されました。

各ワークショップ教室では、子どもたちが言葉による説明を聞いて理解する機会や周りの仲間に自分の考えを言葉で伝える機会が多く設定され、言葉の大切さを実感するなど普段の授業ではなかなか味わえない体験をしてもらえたように思います。

以下にワークショップ講師を記します。

（1）近畿地区の盲学校・視覚特別支援学校以外の講師

鳥山由子氏（元筑波大学教授）

大野照文氏（京都大学総合博物館教授）

横山季代子氏（沖縄美ら海水族館学芸員）

武井洋子氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

丹治達義氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

清和嘉子氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

（2）近畿地区の盲学校・視覚特別支援学校教諭

岸博実氏（京都府立盲学校）

大西秀輝氏（兵庫県立視覚特別支援学校）

泉谷正美氏（奈良県立盲学校）

川野学都氏（大阪府立視覚支援学校）

松本大氏（大阪府立視覚支援学校）

また、奈良県立盲学校の卒業生で現在ブラインドサッカー日本代表の山口修一氏を講師にお招きし、保護者を対象に講演していただきました。ブラインドサッカーに関わって、具体的なエピソードを交えながら「打ち込めるものを見つけることの素晴らしさ」について、熱く語っていただきました。